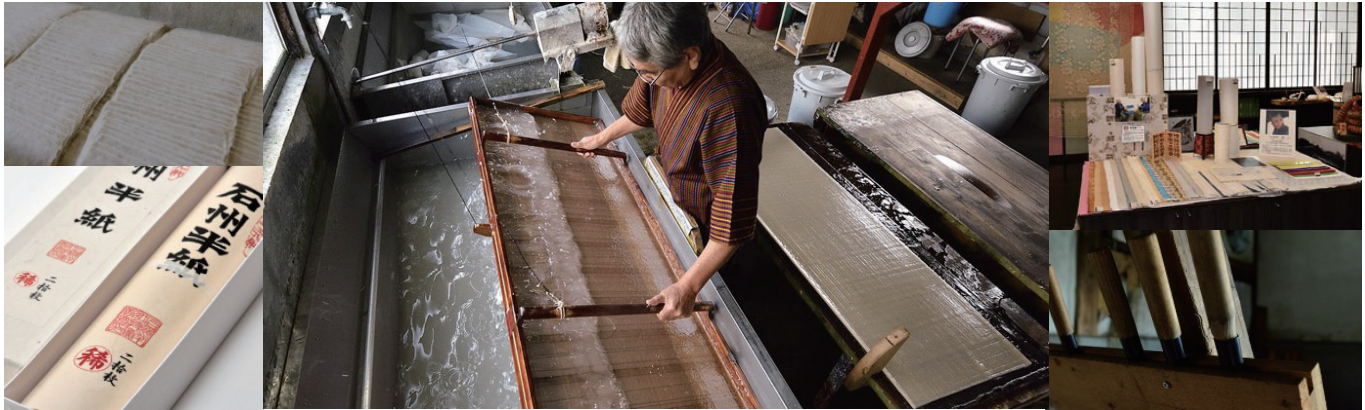


微細で強靱、光り輝く石州和紙を
これからも守り続け、発展させていきます。



経営課題（なぜ本事業を利用？）

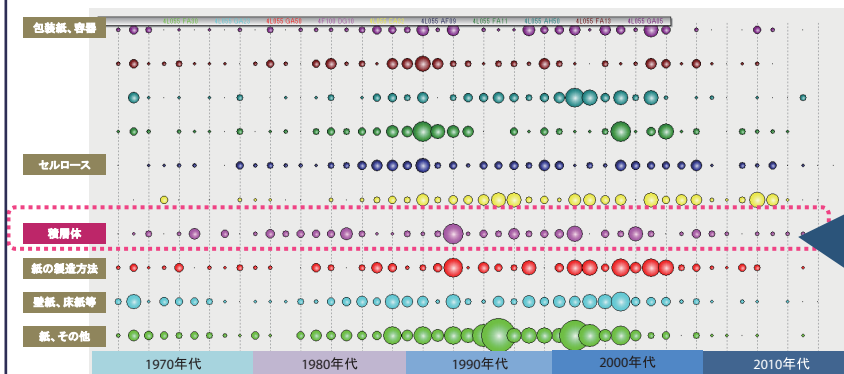
伝統工芸品であるがゆえに、使用する素材・製法等に制約がありますが、その一方で、事業拡大のためにも新たな試みが求められていました。特許情報やその活用にはあまり馴染みがなく多少不安でしたが、**今までにない気付きを与えてくれるのではないか、といった期待もありました**ので、思い切って応募しました。

分析のポイント

今後の研究・開発のベースとなる基礎資料を整理するといったコンセプトで情報を収集しつつ、特に機能性・材料の観点から、特許情報の分析を行うことにしました。また、現在温めているアイデアがあるので、特許取得の可能性を知るべく、先行文献調査も併せて実施しました。

わかったこと

和紙に係る要素・用途等の出願動向



紙・和紙関連の出願が多い中、複数のシートを貼り合わせた構成（積層体）からなる機能性材料に和紙を用いた出願があり、和紙の新たな用途の可能性が見えてきました。
併せて、先行文献調査の結果、注視すべき文献を発見。私たちのアイデアと対比することで、開発の方向性が見えてきました。

分析結果の活用

自社での研究・製品化に向けて活用することは勿論ですが、**勉強会等を通じて地域の関係会社とも共有し、和紙産業の活性化に取り組んでいくツールとしても活用できるのではないかと期待しています。**

本事業のメリット

特許情報分析の必要性は感じつつも手が回らない中小企業の皆様には、大変良い機会だと思います。ヒアリングでは、**初心者である私たちの話も丁寧に聞いていただき、求める調査内容が明確になりました。**それが分析結果にも反映されたと思います。

PROFILE | 企業情報



久保田 総氏

石州和紙（石州半紙）は島根県の西部（石見地方）の地域で約1300年もの間漉き続けられてきた手すき和紙で、国の重要文化財やユネスコ無形文化遺産としても知られている伝統工芸品です。先人達が築いてきた技術・製法を守り受け継いでいくことに誇りを感じています。

所在地：島根県浜田市
設立：1953年

事業内容：石州和紙及び関連製品の製造
社員数：4名

事業拡大の手掛かりに。